

| | | | |
|-----------|-----------------------|-------|-------|
| 講義名 | 特別講義（ブライダル・コーディネーション） | | |
| 科目区分 | 特別研究 | | |
| 担当教員 | 石橋 仁美 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 3時限 | | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 43039 |

主題と概要

ブライダルビジネスに興味があり、将来ブライダル業界で働きたい人の入門編として設定しています。結婚式・披露宴を中心とするブライダルについて、基礎から学び、資格試験を目指すところまで知識を深めます。ブライダルコーディネーション論 から始まり、ブライダルコーディネーション論 を経てブライダルコーディネーション論 で完成します。その後、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定のアソシエイト・ブライダル・コーディネーターの認定資格が取れます。また2019年より国家試験となりました、ブライダルコーディネート技能検定3級合格を視野に入れ、必要なスキルを学び、接客マナーなどウェディングプランナーとしての基本事項を習得することができます。

到達目標

1. ブライダルに関する用語を身につける。
2. ブライダルの基礎の重要ポイントについて理解できる
3. ブライダルプランナーとしての最低限のスキルを身につける
4. ブライダルに関わる様々な職種を理解し、業界の広がりを理解する
5. ブライダルにおけるホスピタリティ をしっかり身につけ、活用する

提出課題

原則として毎回講義の都度、小レポートまたは小テストを行います。これにより、授業の中で学んだことの理解度・到達度をはかります。

評価の基準

毎回の小レポート・小テスト評価 4点満点15回実施 60点 試験40点

履修にあたっての注意・助言他

ウェディング情報誌・新聞・雑誌・テレビ・インターネット・インスタグラムなどで、ブライダルの話題に興味を持って追いかけてください。自分から積極的に情報収集をすることをおすすめします。

授業の際、おしゃべりなど、授業の妨害になると判断した場合、退席していただきます。（欠席扱いとなります。）講義開始後15分を超えての遅刻者は、欠席扱いとします。

教科書

| | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| .ブライダルコーディネーターテキスト、 | 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 | 2800円 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

プリント資料及び参考文献

必要に応じてプリントを配布いたします。

授業計画

ガイダンス
結婚（ブライダル）とは
・今人気の結婚式、結婚の定義と最近の状況 ブライダル業界で働くということ
ブライダルの歴史
・日本にブライダル・欧米のブライダル：歴史と文化
ブライダルビジネス
・ブライダルビジネス（マーケット・ブライダル業種）
ブライダルビジネス
・ブライダルビジネス（ブライダル関連業種、エリア特性）
ブライダルの基礎
・見合い、婚活、婚約、結納
ブライダルの基礎
・挙式のスタイル(キリスト教式・神前式・人前式) 挙式の多様化
ブライダルの基礎
・披露宴のスタイル(披露宴、1.5次会、二次会)
・海外ウェディング・リゾートウェディング・フォトウェディング
ブライダルコーディネーター業務
・コーディネーター業務
ブライダルコーディネーター業務
・新規接客・打合せ接客など、ブライダルセールスの特徴
ブライダルコーディネーター業務
・ホスピタリティ営業、プランニング、プレゼンテーション
ブライダルコーディネーター業務
・新規アフターフォロー、成約業務、規約
ブライダルコーディネーター業務
・打合せ業務 成約から当日まで
特別講義 ゲスト講師による 「仮題：ウェディングプランナーの実際」
まとめ
・ブライダルコーディネーターの役割
・ブライダルコーディネーターに求められるもの

予習・復習

あらかじめ教科書は読んでおくこと。授業の中で教科書を読んでもらいます。感じの読みなど予習しておくこと。（評価の参考にします）
基礎的な文言・言葉・表現など、授業の中で習った重要なものは覚えていくこと

備考

アルバイトを選ぶ際、ブライダルにつながるものを選ぶと、一層身につきます。